

ひなたGISの有効性と 宮崎における今後のデータ活用への期待



平成30年2月14日(水)

(一財)みやぎん経済研究所
主任研究員 杉山 智行

宮崎県総合政策部情報政策課
副主幹 落合 謙次



Agenda

1. ひなたGISとは
2. ひなたGISの有効性～地域資源の再確認
3. 宮崎県内におけるデータ利活用の状況
4. まとめ～今後のデータ活用への期待

1. ひなたGISとは

- 宮崎県職員が独自に作成した地理情報システム
～地域自治体に求められるデータを見える化するツール
- ひなたGISの仕様
openlayersをベースに開発。オープンソースを基本とする。
動作スピードと開発の迅速さを追求
使用している技術の一部は他者からの提供
- これまでの受賞歴
27年 8月 庁内のコンテスト 知事賞受賞
29年 3月 RESASアプリコンテスト 最優秀賞受賞
29年 8月 地方公務員アワード2017受賞
29年10月 先進政策創造会議 優秀政策賞受賞

2. ひなたGISの有効性 ～地域資源の再確認

- (1)市町村人口減少の状況
- (2)小地域人口分布～都市集約化の状況
- (3)現役負担率からみた地域の状況
- (4)医療機関と小地域人口の分布
- (5)自治体財政力指数と現役負担率
- (6)ハザードマップと小地域人口分布
- (7)観光資源～神話の見える化
- (8)その他

(1) 市町村人口減少の状況

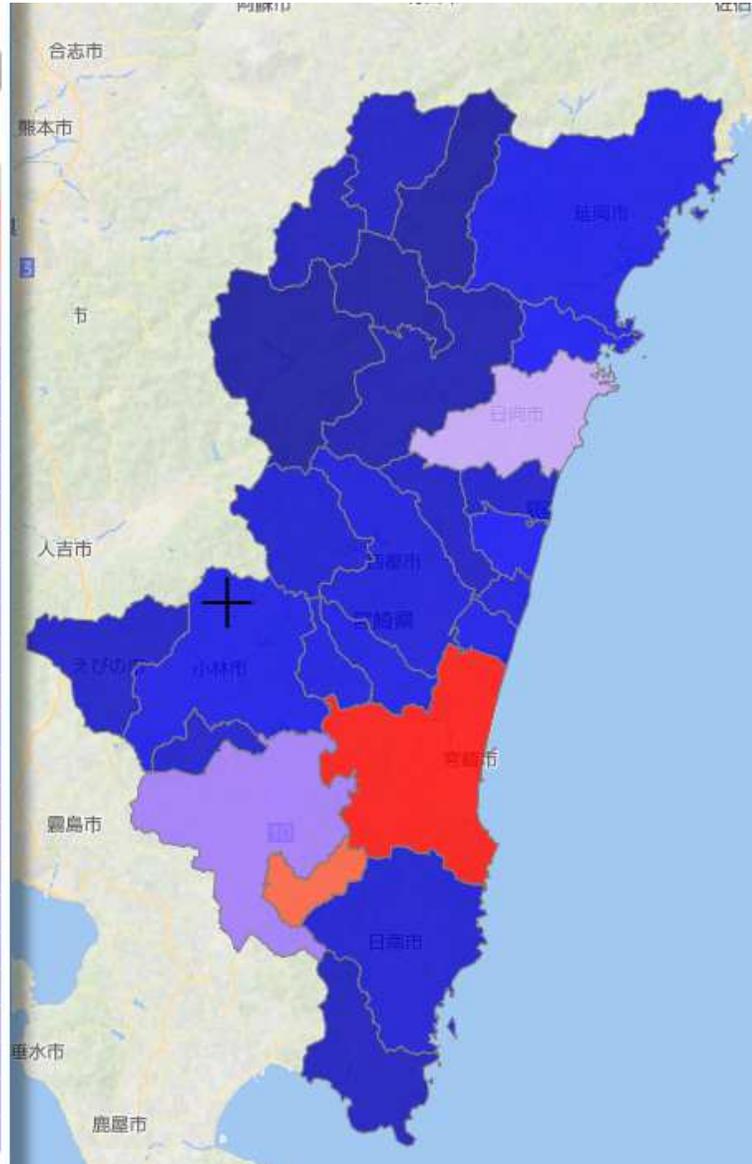
図1. 市町村人口減少の状況

出典: 社会・人口統計体系 (都道府県・市区町村のすがた)

45-宮崎県 3-人口増減率

2010 年 人口増減率

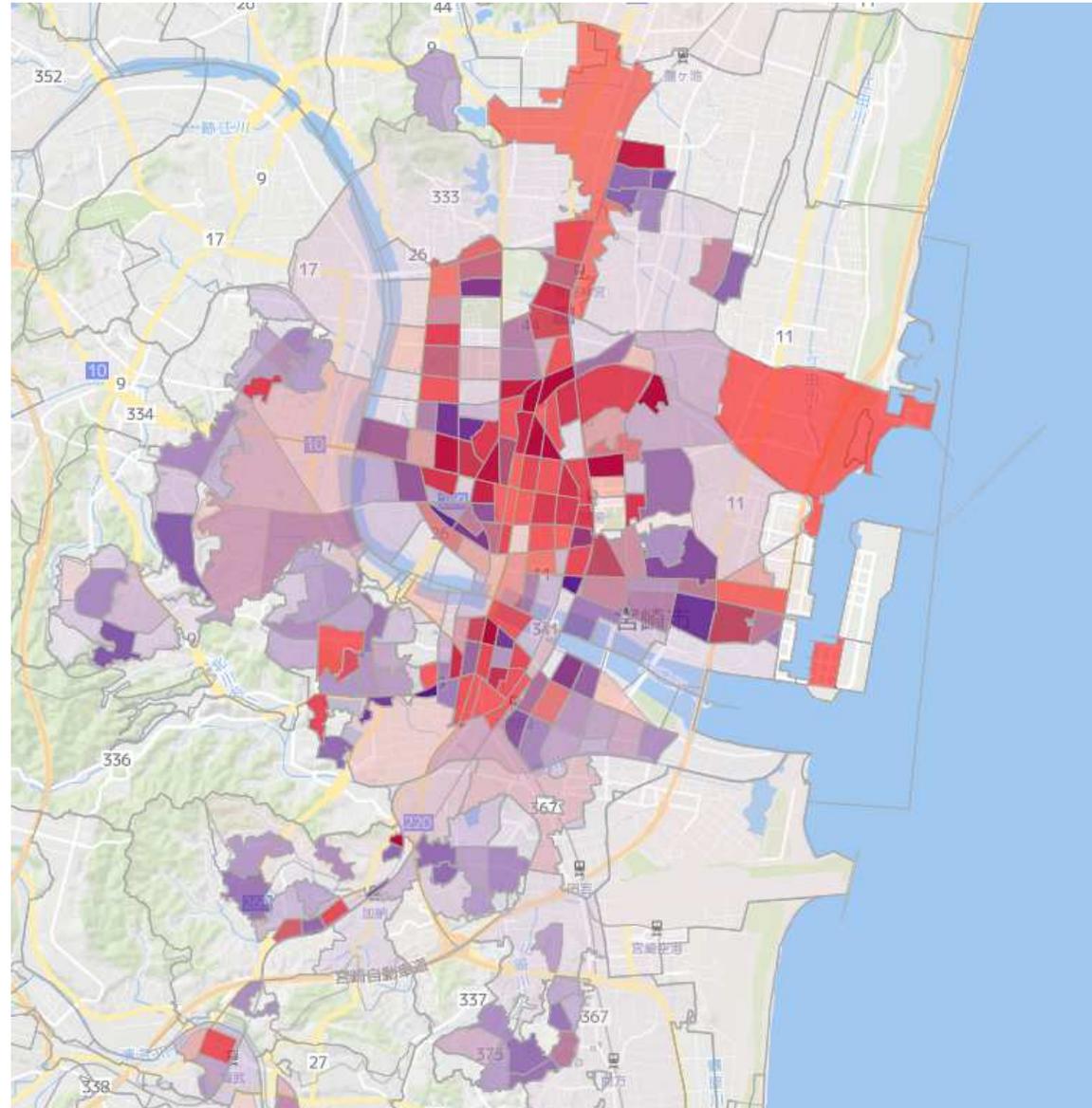
| ◆ | コード | ◆ | 自治体名 | ◆ | 2010人口 | ◆ | 単位:% | ◆ | @10万人 |
|----|-------|------|--------|--------|----------|---|------|---|-------|
| 1 | 45201 | 宮崎市 | 400583 | 1.26 | 0.315 | | | | |
| 2 | 45341 | 三股町 | 24800 | 1.04 | 4.194 | | | | |
| 3 | 45206 | 日向市 | 63223 | -0.52 | -0.822 | | | | |
| 4 | 45202 | 都城市 | 169602 | -0.79 | -0.466 | | | | |
| 5 | 45405 | 川南町 | 17009 | -1.81 | -10.641 | | | | |
| 6 | 45421 | 門川町 | 18854 | -1.84 | -9.759 | | | | |
| 7 | 45402 | 新富町 | 18092 | -2.77 | -15.311 | | | | |
| 8 | 45203 | 延岡市 | 131182 | -2.96 | -2.256 | | | | |
| 9 | 45205 | 小林市 | 48270 | -3.11 | -6.443 | | | | |
| 10 | 45383 | 綾町 | 7224 | -3.40 | -47.065 | | | | |
| 11 | 45401 | 高鍋町 | 21733 | -3.50 | -16.105 | | | | |
| 12 | 45382 | 国富町 | 20909 | -3.61 | -17.265 | | | | |
| 13 | 45208 | 西都市 | 32614 | -4.32 | -13.246 | | | | |
| 14 | 45403 | 西米良村 | 1241 | -5.05 | -406.930 | | | | |
| 15 | 45204 | 日南市 | 57689 | -5.29 | -9.170 | | | | |
| 16 | 45406 | 都農町 | 11137 | -5.71 | -51.271 | | | | |
| 17 | 45361 | 高原町 | 10000 | -5.86 | -58.600 | | | | |
| 18 | 45209 | えびの市 | 21606 | -6.38 | -29.529 | | | | |
| 19 | 45404 | 木城町 | 5177 | -6.40 | -123.624 | | | | |
| 20 | 45441 | 高千穂町 | 13723 | -7.14 | -52.029 | | | | |
| 21 | 45207 | 串間市 | 20453 | -7.53 | -36.816 | | | | |
| 22 | 45443 | 五ヶ瀬町 | 4427 | -8.00 | -180.709 | | | | |
| 23 | 45431 | 美郷町 | 6248 | -9.11 | -145.807 | | | | |
| 24 | 45430 | 椎葉村 | 3092 | -11.10 | -358.991 | | | | |
| 25 | 45429 | 諸塚村 | 1882 | -11.18 | -594.049 | | | | |
| 26 | 45442 | 日之影町 | 4463 | -11.29 | -252.969 | | | | |



資料) 総務省「国勢調査」をもとに宮崎県「ひなたGIS」にて作成

(2) 小地域人口分布～都市集約化の状況

図2. 宮崎市の小地域別人口分布と卸小売業の集積状況



資料) 総務省「国勢調査」「経済センサス」をもとに宮崎県「ひなたGIS」にて作成

(3) 現役負担率からみた地域の状況

図3. 九州の高齢者負担率メッシュ図

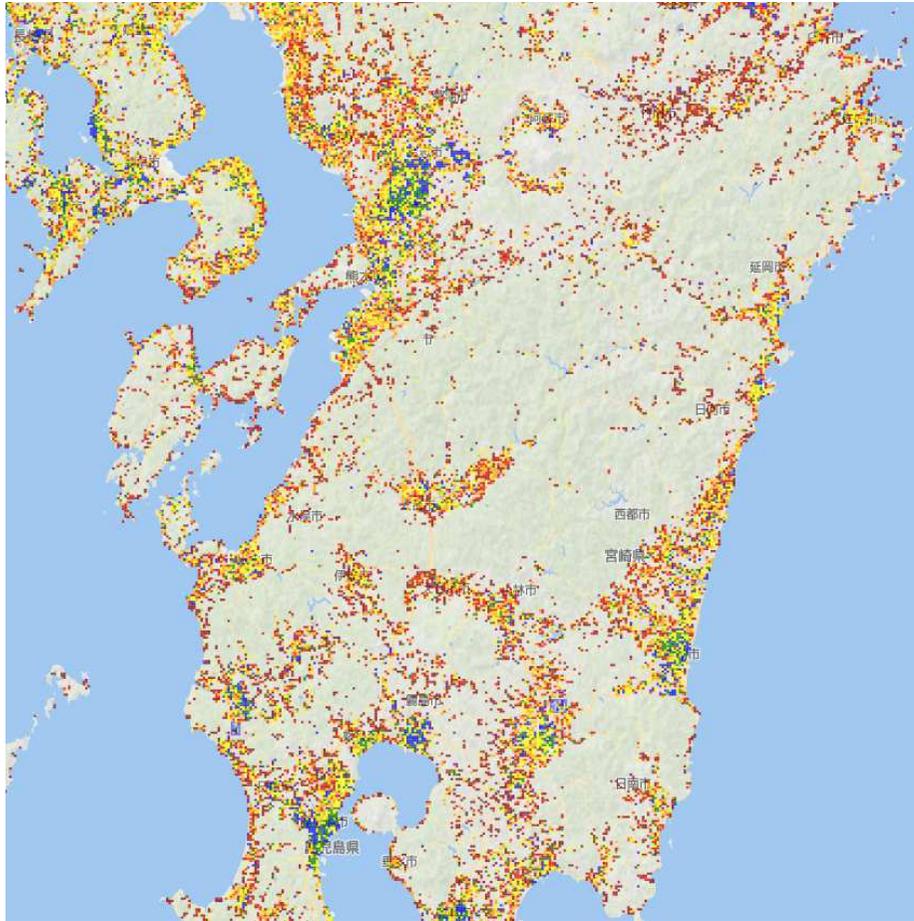
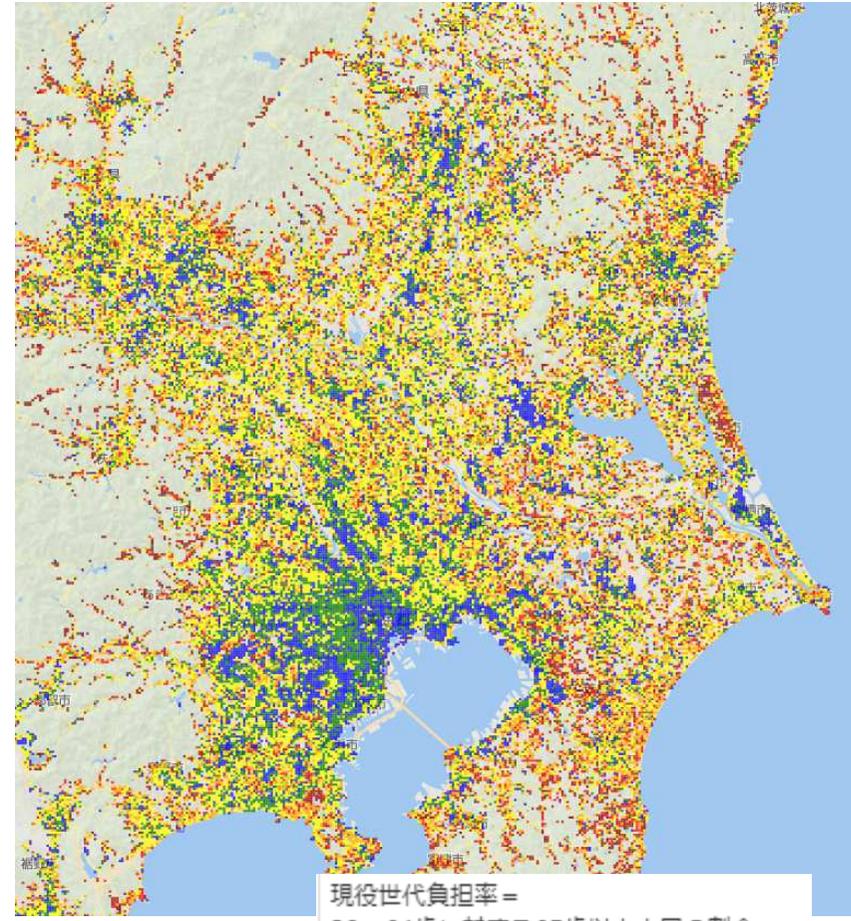


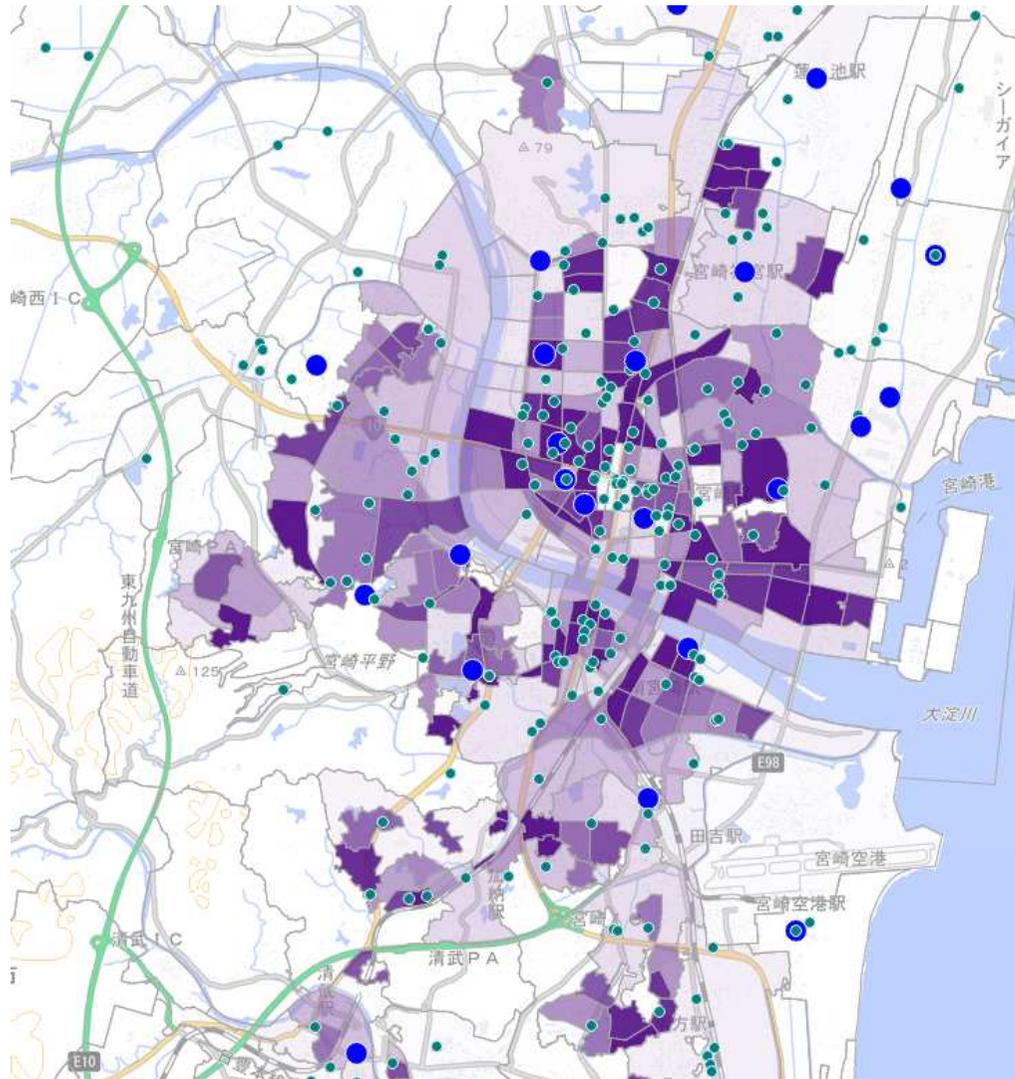
図4. 首都圏の高齢者負担率メッシュ図



資料) 総務省「国勢調査」をもとに宮崎県「ひなたGIS」にて作成

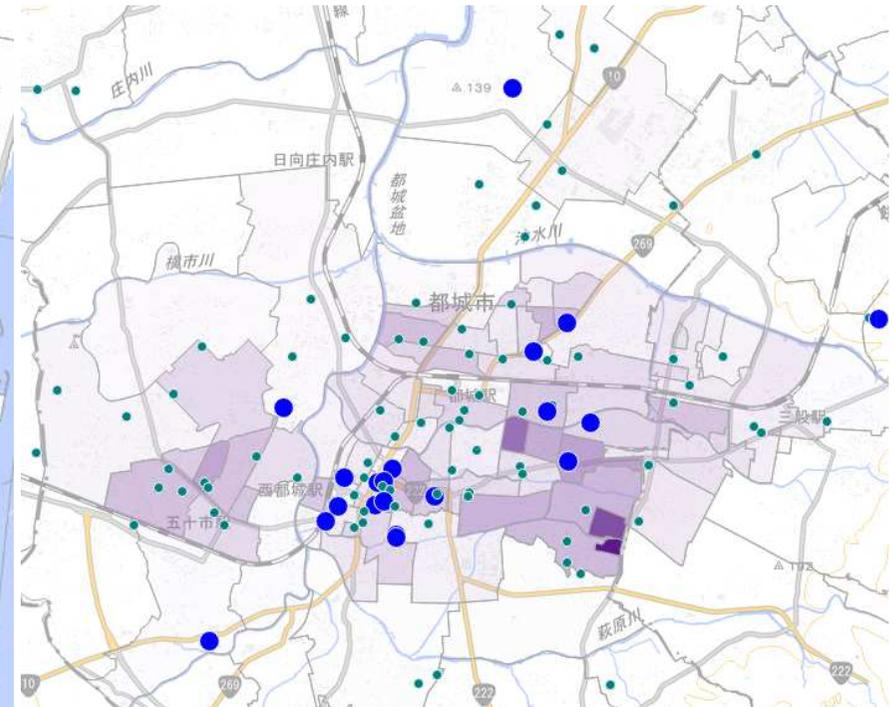
(4) 医療機関と小地域人口の分布

図5. 宮崎市の病院、診療所と小地域人口の分布



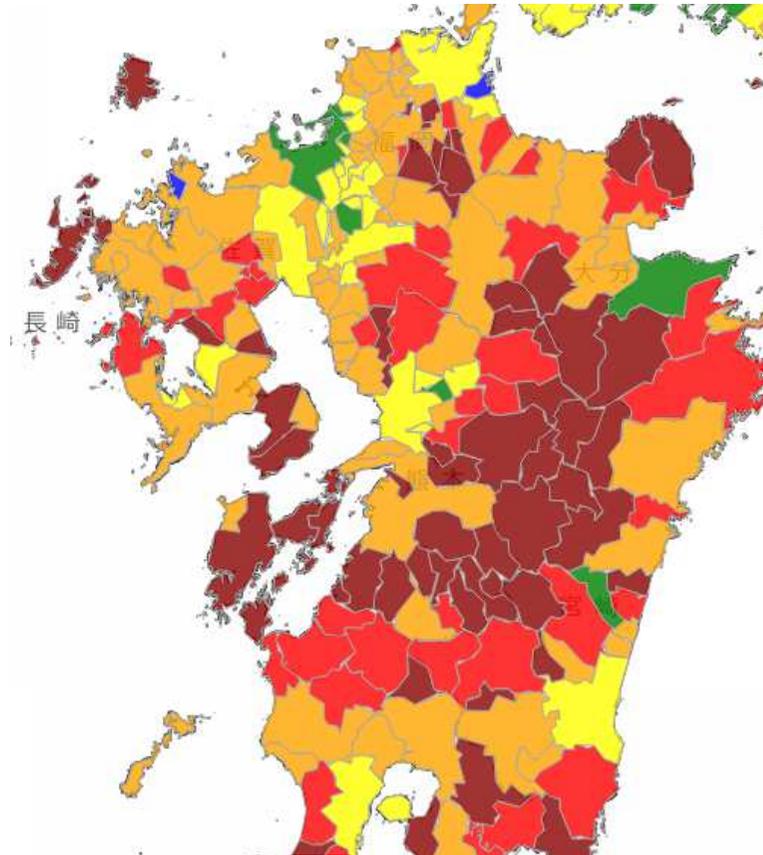
資料) 国土地理院資料をもとに宮崎県「ひなたGIS」にて作成

図6. 都城市の病院、診療所と小地域人口の分布



(5) 自治体財政力指数と現役負担率

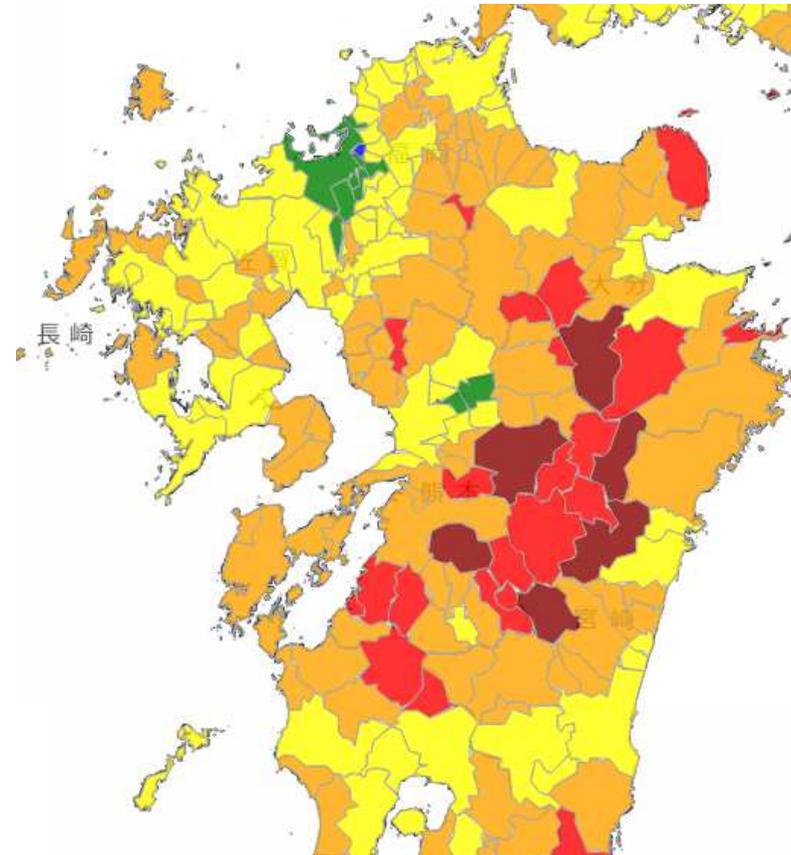
図7. 九州の市町村別財政力指数



財政力指数 =
基準財政収入額を基準財政需要率で除した
数値

- ・青=1.0以上 余裕あり
- ・緑=0.8以上
- ・黄=0.6以上
- ・橙=0.4以上
- ・赤=0.3以上
- ・赤=0.3未満

図8. 九州の市町村別現役負担率



現役世代負担率 =
20~64歳に対する65歳以上人口の割合

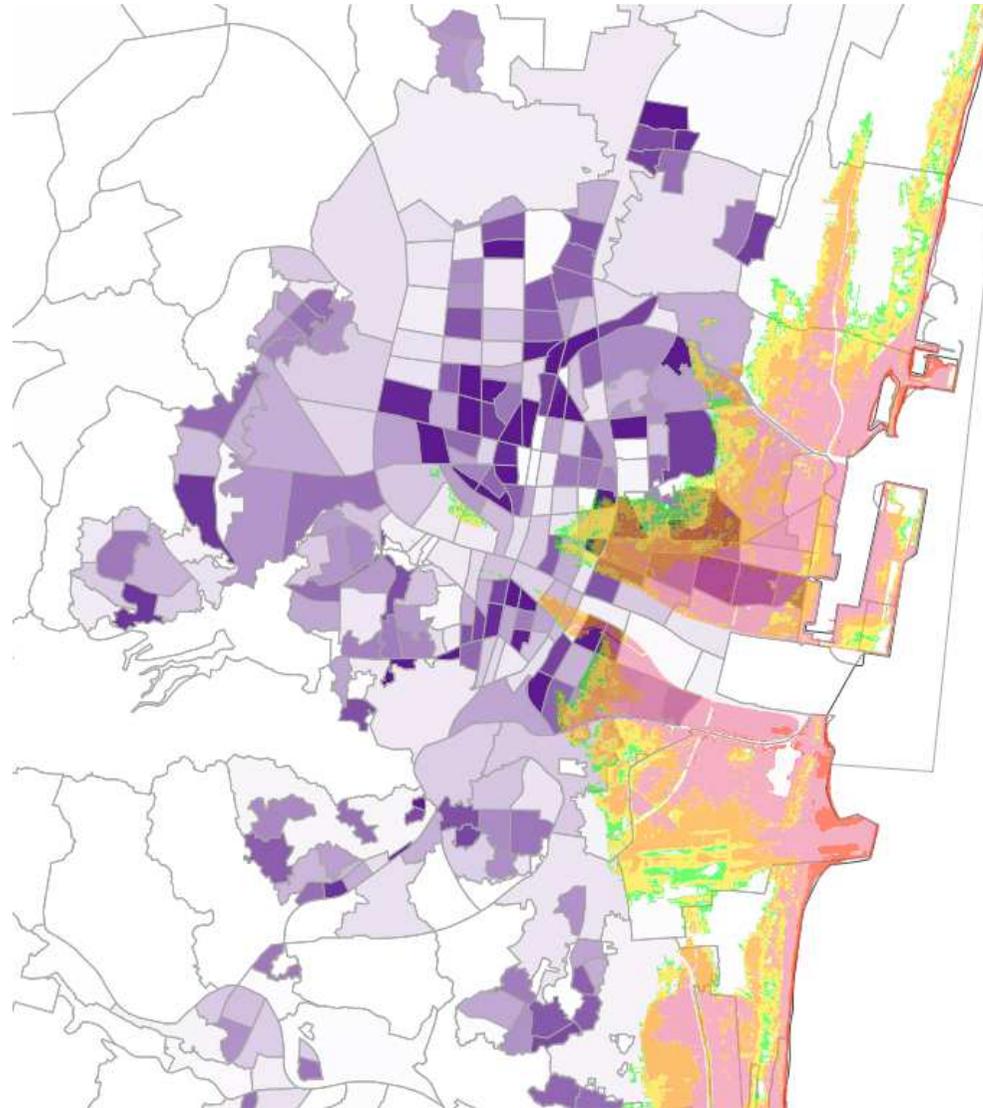
- ・赤=1.0以上 高負担
- ・赤=0.8以上
- ・橙=0.6以上
- ・黄=0.4以上
- ・緑=0.3以上
- ・青=0.3未満 低負担

資料) 財務省「市町村決算調」をもとに宮崎県「ひなたGIS」にて作成

資料) 総務省「国勢調査」をもとに宮崎県「ひなたGIS」にて作成

(6) ハザードマップと小地域人口分布

図9. 宮崎市の津波到達点と小地域人口分布



資料) 総務省「国勢調査」、宮崎県ハザードマップをもとに宮崎県「ひなたGIS」にて作成

3. 宮崎県内におけるデータ利活用の状況

図10. 県内事業所におけるデータ活用の状況

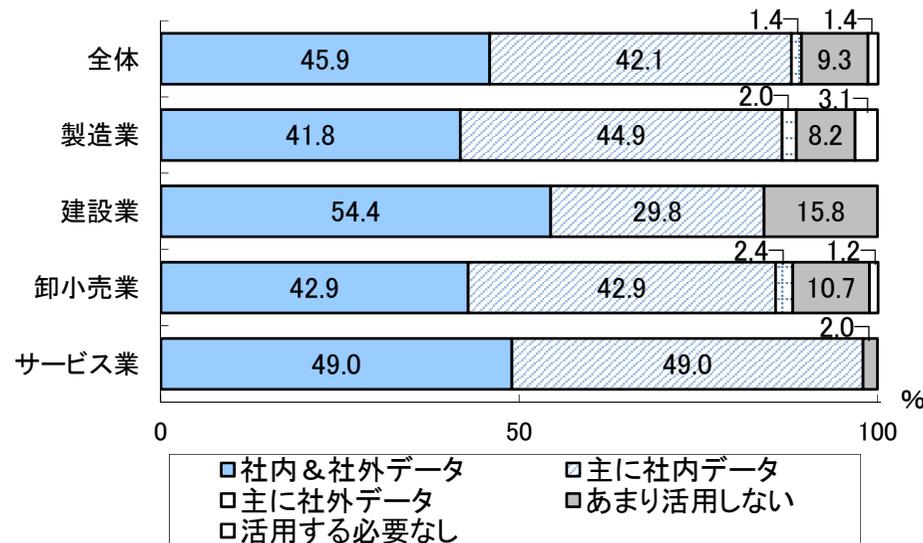


図11. 県内事業所にて活用するデータの種類の割合

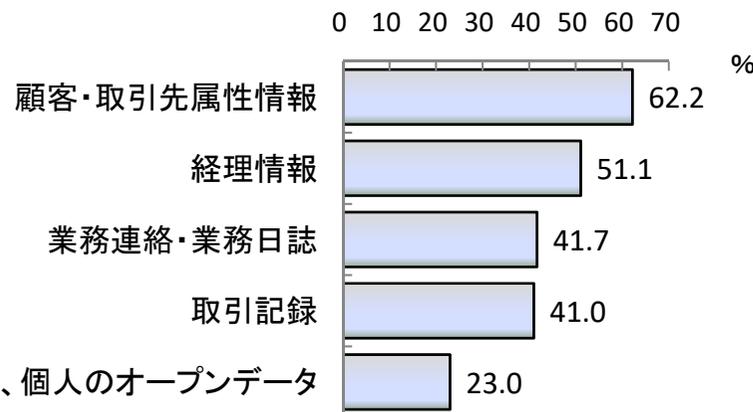
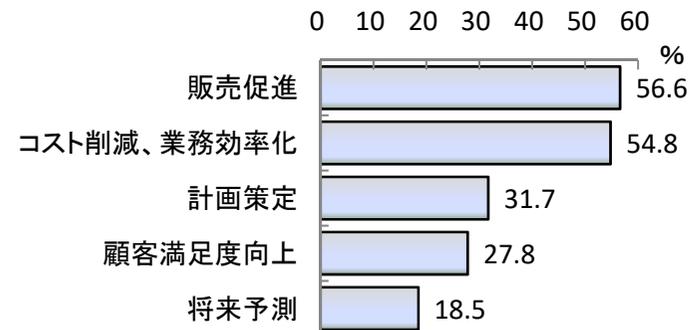


図12. 県内事業所におけるデータ利活用の目的の割合



資料) (一財)みやぎん経済研究所資料

図13. 県内事業所におけるデータ利活用の課題

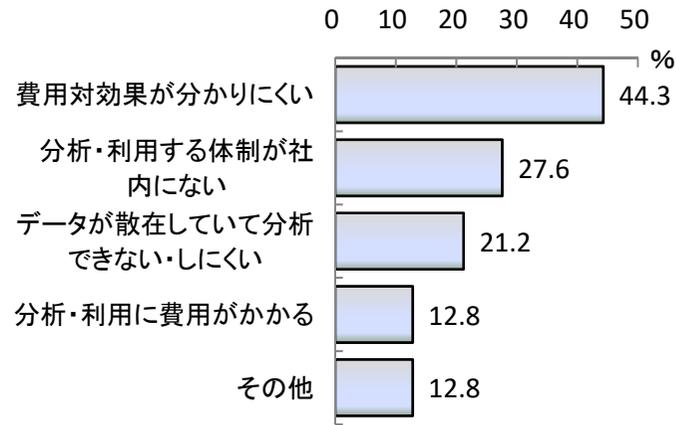


図14. 県内事業所の公共・民間データ利活用状況

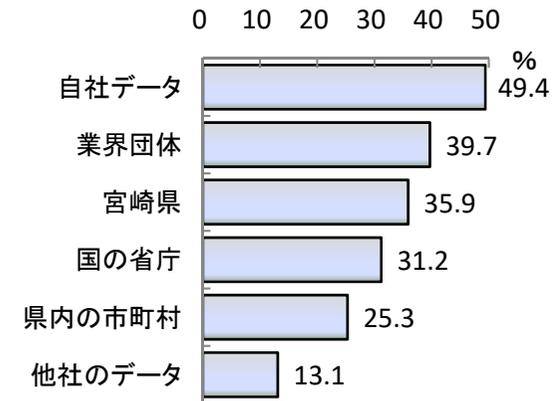


図15. 県内事業所が公開を望む公共データ

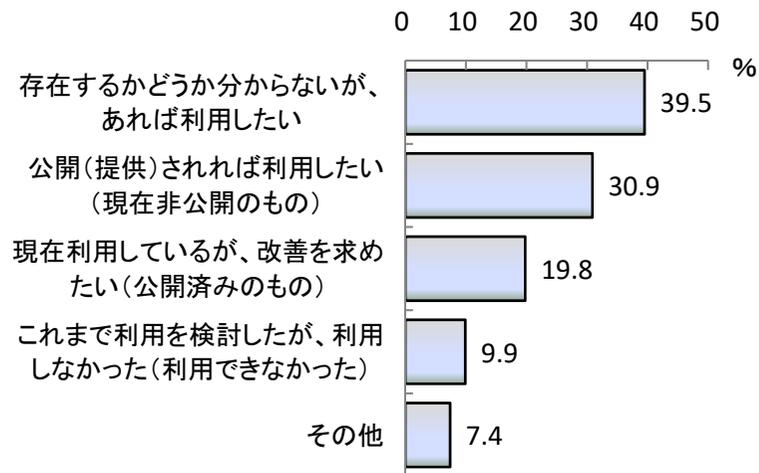
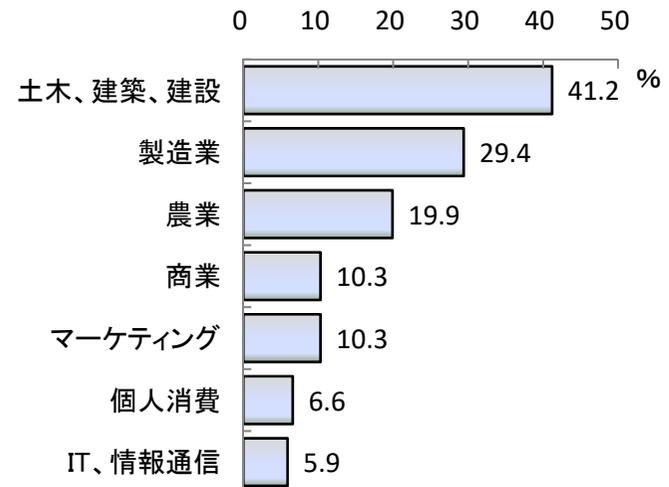


図16. 県内事業所のうち、公共データを利用する業種



4. まとめ～今後のデータ活用への期待

- ひなたGISの活用によりビジネスアイデアが広がる
～データベースとして、アイデアの源泉としての利用
～見える化で仕事が大きく変化する
- データ利活用、オープンデータ化は今後重要である
～特に匿名化した自治体福祉分野等のデータ利活用は社会保障費削減への貢献や、新たなビジネスを生む可能性が高い。公共Wi-fiデータがオープンになれば都市のスマート化も可能。地域内のマーケティングが大幅に変化するのでは。
- データ保護と活用のジレンマはテクニカルに乗り越えられる
- 今後のデータ活用が人口減少時代の救いの手となるのでは